

③笠間市による放射線量の測定結果をお知らせします

市では、東京電力福島第一原子力発電所事故を受け、現在、小中学校を中心に市内各施設（43施設）で放射線量測定を週2回行っています。主な施設での結果は、次のとおりです。（なお、結果は市のホームページでも公表しています。）

【放射線量測定結果※1月10日直近のデータ】（単位：マイクロシーベルト／時間）

笠間小	0.093	友部小	0.136	笠間中	0.146
東小	0.190	友部第二小	0.183	東中	0.158
佐城小	0.123	北川根小	0.168	南中	0.197
箱田小	0.150	大原小	0.146	稲田中	0.137
南小	0.160	岩間第一小	0.176	友部中	0.122
稲田小	0.171	岩間第二小	0.162	友部第二中	0.186
宍戸小	0.152	岩間第三小	0.207	岩間中	0.201

【測定場所】グラウンド中央付近 【測定高さ】地上50cm

※各施設とも、国が8月26日に定めた校庭・園庭の空間線量率の目安、1マイクロシーベルト／時間を下回っています。

問 学務課（内線372）

④水道水の放射性物質測定結果をお知らせします

採水日	採水場所	市実施分		県実施分	
		放射性ヨウ素	放射性セシウム	放射性ヨウ素	放射性セシウム
1/4	石寺浄水場	不検出	不検出		
	宍戸浄水場	不検出	不検出		
	吉岡浄水場	不検出	不検出		
	友部地区 高区配水池			不検出	不検出

※国が定める暫定規制値 放射性ヨウ素：300ベクレル/kg・放射性セシウム：200ベクレル/kg

※水道水の放射性ヨウ素が100ベクレル/kgを超える場合には、乳児用調整粉乳を水道水で溶かして乳児に与えるなどの乳児による水道水の摂取を控えてください。

※友部地区高区配水池については、県澗沼川浄水場からの受水分です。

※今後も、厚生労働省のモニタリング方針に基づき、当面の間週1回の測定を実施します。

問 水道課（内線71211）

⑤放射性物質に関する考え方についてお知らせします

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東北、関東の市町村に甚大な被害をもたらしました。

その中でも東京電力福島第一原子力発電所の事故により、本市にも放射性物質の影響が出ています。現在の放射線レベルは、3月13日から15日にかけての初期の原発建屋の爆発等によって放出されたものが風に乗って飛散し、降り積もったものが主たる原因といわれています。

市では、「放射線対策本部」を設置し、小中学校等の定点放射線測定を実施するとともに、土壌や水質検査を行い、放射線対策に取り組んでいます。

現在の状況は、独自に測定している空間放射線量、国の航空モニタリング調査等の結果から、市民の皆さんの日常生活は、普段と同じで差し支えないと判断しています。

また、市内の空間放射線量をより細かく測定した「笠間市空間放射線量マップ」を作成するとともに、食品等の放射性物質測定器による検査、簡易放射線測定器の貸出しを行っています。

放射線の対応は、国の基準に準拠し、空間放射線量の情報提供、放射線の被ばく量をできるだけ少なくする除染方法などの情報提供を行い、市民の皆さんの不安解消に取り組んでいきます。

「笠間市空間放射線量マップ」は、広報かさま2月号に掲載する予定です。

問 総務課 危機管理室（内線207・210）

②ページ 「申」は申込み先、「問」は問合せ先の略です。

⑥皆さんのご意見を伺います～パブリック・コメント手続制度～

「パブリック・コメント手続制度」は、市の主要な施策や事業の立案を行う際に、素案を広く公開し、意見や情報をできる限り反映させるという制度です。

このたび、「第9次笠間市交通安全計画（案）」の策定に当たり、広く皆さんのご意見・ご提言を頂くため「パブリック・コメント手続制度」を行います。

実施期間中は、ホームページ、市役所本所・各支所、各公民館、各図書館で素案を閲覧できます。

意見の提出方法 氏名・住所を明記し、直接または郵送、FAX、Eメールで提出してください。

書式は任意です。

案件名 第9次笠間市交通安全計画（案）について

要旨 この計画は、交通安全対策基本法（昭和45年法律第110号）第26条第1項の規定により、交通安全対策の総合的かつ計画的な推進を図るため、人命尊重の理念の下に、交通事故のない社会を目指して、長期的な視野に立った交通安全対策全般を効果的に推進していくためのものです。

法に基づき第9次茨城県交通安全計画に沿って、笠間市の講ずべき交通安全に関する施策の大綱を定めています。

実施期間（意見提出期間） 1月24日（火）～2月13日（月）【21日間】

問・提出先 〒309-1792 笠間市中央3-2-1 市民活動課（内線134）

FAX 0296-78-0612 Eメール info@city.kasama.lg.jp

⑦第4回男女共同参画講座の参加者を募集

ふるさとの歴史再発見

「日本で初めての女性教師 くろさわとまきこ 黒澤止幾子」

幕末安政の激動の時期、幕政を正すため単身京都に上り、命を賭して朝廷への嘆願を執行し、維新期には日本初の女性教師となり、85歳で没するまで地域の子どもたちを教育し続けた女性、城里町出身の黒澤止幾子について学びます。

日時 2月5日（日）午前10時～正午

場所 笠間公民館 2階会議室

講師 杉山三千雄さん（元城里町文化財保護審議会委員）

募集人数 50名（定員を超えた場合は抽選）

参加費 無料

保育サービス 有（無料）

申込期限 1月31日（火）

企画運営 男女共同参画講座企画員

申・問 秘書課 男女共同参画推進室（内線225）

⑧「ごみを考える会」視察研修の参加者を募集

今回の研修先「ゼロエミッションハウス」は、2008年の洞爺湖サミットで経済産業省が展示した近未来型住宅「ゼロエミッションハウス」を移築したものです。戸建住宅用の国内最先端のエネルギー環境技術が見学できます。また、茨城県との共同事業として設置された国内最大級3.75メガワットの太陽光発電施設「茨城県坂東市LIXILつくばSOLAR POWER」も見学します。

日時 2月16日（木）午前8時30分出発、午後5時帰着予定

集合場所 笠間市役所本所 玄関前

研修先 ①ゼロエミッションハウス（積水ハウス古河工場）
②茨城県坂東市LIXILつくばSOLAR POWER（LIXIL岩井工場）

定員 20名（先着順）

参加費 1,600円（昼食代、高速料金の一部負担）

申込期限 2月2日（木）

申・問 ごみを考える会 菊地 寿代
TEL/FAX 0296-77-5028
（午後6時以降）

健康・医療・介護・育児など24時間年中無休無料で相談が受けられます。 ③ページ
かさま健康ダイヤル24